議案第１号

資料１

令和５年度事業報告

１　実施概要

錦帯橋の世界文化遺産登録に向けて、県・市・関係団体が連携・協働して、錦帯橋のＯＵＶ（顕著な普遍的価値）及びオーセンティシティ（真実性）等について、市民や県民はもとより、国内外の方と共有化する理解増進・情報発信の取組を展開した。

特に、令和５年度は、錦帯橋創建３５０年の節目を迎える中、世界文化遺産登録に向けての課題の一つである国内外に向けた理解増進・情報発信を図っていくため、国際シンポジウムを開催し、錦帯橋のＯＵＶ及びオーセンティシティ等について、国際的な観点から海外専門家に意見や助言をいただいた。

２　実施事業

（１）錦帯橋世界遺産国際シンポジウムの開催

日時	１１月２３日（木）１３時３０分～１６時３０分
場所	岩国国際観光ホテル
目的	国際イコモスでも活躍されている海外専門家に登壇いただき、世界遺産登録を目指している錦帯橋について、国際的な観点からのコメントをいただき、地元のみならず国内の方への理解増進を図る。
内容	海外専門家３名（令和４年度国際オンラインミーティング参加者）の出席による国際シンポジウムを開催し、国際的な観点からの意見や助言をいただいた。開催後、シンポジウムの模様（日本語版及び英語版）を YouTube で配信し、広く情報発信を行っている。 ○特別講演　ミケル・ランダ 氏 演題：国際的な視点からの錦帯橋のオーセンティシティ ○パネルディスカッション ▽コーディネーター： マルティネス・アレハンドロ 氏（京都工芸繊維大学助教） ▽パネリスト アンヘル・カベサ 氏【チリ】（イコモス無形文化遺産国際委員会副委員長） エレフテリア・ツァカニカ 氏【ギリシャ】（イコモス国際木の委員会エキスパートメンバー） ミケル・ランダ 氏【スペイン】（　同上　） 岡田　保良 氏（国士舘大学名誉教授、一般社団法人日本イコモス国内委員会委員長） 西　和彦 氏（文化庁文化資源活用課文化遺産国際協力室主任文化財調査官）

（２）啓発資材の作製

目的	錦帯橋のＯＵＶ等の理解増進・情報発信
内容	リーフレットを重版した。 ・日本語版（第５版）　　６，０００部 ・英語版（第２版）　　３，０００部

（３）ＰＲパネルの展示（全７回）

日程 場所	①　４月２２日　フレスタモール　カジル岩国 ②　５月２０日、２１日　錦帯橋創建３５０年特別企画　岩国学舎・独立禅師作品展（岩国市民文化会館） ③　６月１９日～３０日　山口県庁 ④　７月１２日～１８日　いわくに観光物産展（東京都庁） ⑤　８月６日　錦帯橋学校（岩国市役所） ⑥　１０月１日　錦帯橋創建３５０年記念式典（岩国国際観光ホテル） ⑦　１１月９日～２０日　錦帯橋創建３５０年記念パネル展（岩国市役所）
目的	錦帯橋のＯＵＶや魅力等の情報発信
内容	ＰＲパネルを展示し、理解増進を図った。

①

②

③

④

⑤	⑥
⑦	

（４）錦帯橋世界遺産登録推進ＰＲキャラクターの愛称決定

愛称	美橋　とわ（みはし　とわ）
内容	・錦帯橋世界遺産登録推進ＰＲキャラクターの愛称を決定した。 ・岩国市の錦帯橋創建３５０年記念事業の一環として公募し、３２４件の応募があった。 ・岩国市内の小学生が、美しい錦帯橋が永遠に存在し続けることを祈って考えた。 ・１０月１日の錦帯橋創建３５０年イベントでは、アニメーション化され、福田市長と対談した。 ポスター

（５）令和５年度錦帯橋ロゴマーク利用状況（協議会以外）

状況	３５件（申請（一般）：６件、届出（協議会の構成団体等）：２９件）